

2018(平成30)年度会計報告概要(2018年4月1日~2019年3月31日)

1. 本法人の会計は、一般会計と5つの特別会計（出版部会計、災害支援会計、日本自転車振興会補助事業会計、宝くじ社会貢献啓発助成事業会計、支部会計）により構成しています。公益社団法人に移行後、支部活動を含むすべての事業を公益事業として、法人会計に総括をして表示します（公益事業支出の割合は、97.8%です）。法人の財務状況は、公益法人会計基準にのっとり、①正味財産増減計算書(明細)、②貸借対照表、③財産目録、以上3つの財務諸表に注記事項を加えて表記しています。

しかし、当面の間はこれまでどおりに会計ごとの財務諸表①~③に加え、一般会員にとって一番馴染み深い④収支計算報告書も、参考資料として表示いたします。

2. 今年度は、法人全体の総収入額が約16,751万円、総支出額が約11,860万円です。これにより、次期繰越金額は約4,891万円となります。

会計別の収支を見てみると、一般会計が約283万円の収入超過となりましたが、出版会計が約206万円、災害支援会計が10万円、支部会計が約746万円の支出超過となり、これら合計額(約679万円)が今期首に繰り越された額に減算されました。

なお、一般会計の収入超過は、昨年度1,100万円を残していた運動推進資産を700万円取り崩して計上したために生じたもので、これにより正味財産が700万円減少する状況となり、財政の実質は大変厳しいものとなっています。

また、支部会計の支出超過については、前年度に引き続き資金をより有効に活用し、必要な事業に積極的に取り組み内部留保を減らした結果であり、公益社団法人の本来の目的に叶った取り組みによるものです。このことは、法人全体として次年度の活動に対して、約4,891万円の資金を残していることにも表れています。

同様に災害支援会計については、昨秋発生した「北海道胆振東部地震」に際して情報提供等の活動を積極的に行い事務的な支出が発生したものです。

さらに、今期末における法人全体の正味財産額は約6,291万円であり、この中には、基本財産・1,000万円、運動推進資産・400万円を含んでいます。

3. 支部会計も法人会計の一部として組み込み、連結した決算を行っていますが、未だ本部の会計基準との整合性がとれていないなどの課題を残しています。これらについては、引き続き課題解決に向けた取り組みを進めます。また、財政の安定化と税務対応についても、引き続き会計士法人等の意見を伺いながら、理事会として重点的に取り組んで参ります。

正味財産増減計算書

平成 30年 4月 1日から平成 31年 3月 31日まで

〔単位:円〕

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,010	1,010	0
運動推進資産運用益	2,062	517	1,545
受取入会金	271,000	572,700	△ 301,700
受取会費	27,969,200	28,673,600	△ 704,400
事業収益	13,555,705	15,421,032	△ 1,865,327
受取補助金等	21,480,984	17,261,398	4,219,586
受取負担金	9,494,869	11,154,388	△ 1,659,519
受取寄附金	9,511,669	10,311,334	△ 799,665
受取協賛金	16,529,939	15,936,050	593,889
雑収益	2,099,609	1,583,457	516,152
経常収益計	100,916,047	100,915,486	561
(2) 経常費用			
事業費	112,215,906	110,107,536	2,108,370
管理費	2,489,306	2,569,646	△ 80,340
経常費用計	114,705,212	112,677,182	2,028,030
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 13,789,165	△ 11,761,696	△ 2,027,469
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 13,789,165	△ 11,761,696	△ 2,027,469
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 13,789,165	△ 11,761,696	△ 2,027,469
一般正味財産期首残高	76,700,953	88,462,649	△ 11,761,696
一般正味財産期末残高	62,911,788	76,700,953	△ 13,789,165
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	62,911,788	76,700,953	△ 13,789,165

●公益社団法人日本てんかん協会●

2018年度正味財産増減計算書内訳表

平成 30年 4月 1日から平成 31年 3月 31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
	てんかんのある人及びその家族の医療と福祉の増進		
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,010	0	1,010
基本財産受取利息	1,010		1,010
運動推進資産運用益	2,062	0	2,062
運動推進資産受取利息	2,062		2,062
受取入金	271,000	0	271,000
受取入金	271,000		271,000
受取会費	25,479,894	2,489,306	27,969,200
普通会員受取会費	18,467,694	2,489,306	20,957,000
賛助会員受取会費	6,030,000		6,030,000
購読会員受取会費	982,200		982,200
事業収益	13,555,705	0	13,555,705
書籍販売事業	4,023,705		4,023,705
講座	9,532,000		9,532,000
受取補助金等	21,480,984	0	21,480,984
地方公共団体	14,055,240		14,055,240
民間	7,425,744		7,425,744
受取負担金	9,494,869	0	9,494,869
講座等	7,620,210		7,620,210
その他	1,874,659		1,874,659
受取寄附金	9,511,669	0	9,511,669
受取協賛金	16,529,939	0	16,529,939
雑収益	2,099,609	0	2,099,609
受取利息	978		978
その他収益	2,098,631		2,098,631
経常収益計	98,426,741	2,489,306	100,916,047
(2) 経常費用			
事業費	112,215,906		112,215,906
役員報酬	1,069,200		1,069,200
給料手当	21,447,933		21,447,933
臨時雇賃金	2,090,611		2,090,611
仕入費	1,108,114		1,108,114
退職金掛金	1,132,891		1,132,891
法定福利費	2,522,147		2,522,147
福利厚生費	100,605		100,605
会議費	1,149,610		1,149,610
旅費交通費	15,864,301		15,864,301
通信運搬費	8,228,474		8,228,474
広告宣伝費	0		0
消耗品費	6,088,864		6,088,864
修繕費	0		0
印刷製本費	18,932,794		18,932,794
水道光熱費	101,541		101,541
賃借料	17,323,431		17,323,431
保険料	0		0
諸謝金	1,006,000		1,006,000
租税公課	468,540		468,540
負担金支出	5,241,033		5,241,033
委託費	1,797,591		1,797,591
雑費	6,542,226		6,542,226

管理費		2,489,306	2,478,506
役員報酬		10,800	10,800
給料手当		77,388	77,388
退職金掛金		5,189	5,189
法定福利費		12,261	12,261
福利厚生費		489	489
会議費		2,320,194	2,320,194
旅費交通費		7,954	7,954
通信運搬費		4,131	4,131
消耗品費		3,846	3,846
修繕費		0	0
印刷製本費		43	43
水道光熱費		1,026	1,026
賃借料		45,804	45,804
保険料		0	0
雑費		181	181
経常費用計	112,215,906	2,489,306	114,705,212
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 13,789,165	0	△ 13,789,165
当期経常増減額	△ 13,789,165	0	△ 13,789,165
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 13,789,165	0	△ 13,789,165
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 13,789,165	0	△ 13,789,165
一般正味財産期首残高	76,700,953	0	76,700,953
一般正味財産期末残高	62,911,788	0	62,911,788
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	62,911,788	0	62,911,788

貸 借 対 照 表

平成31年3月31日現在

単位:円

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	56,669,427	70,229,072	△ 13,559,645
未収金	7,795,299	1,874,536	5,920,763
前払金	0	164,487	△ 164,487
立替金	0	0	0
商品	4,212,676	4,451,574	△ 238,898
貯蔵品	16,241	19,410	△ 3,169
流動資産合計	68,693,643	76,739,079	△ 8,045,436
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金(信託銀行)	10,000,000	10,000,000	0
定期預金	0	0	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他の固定資産			
運動推進資産(定期預金)	4,000,000	11,000,000	△ 7,000,000
その他の固定資産合計	4,000,000	11,000,000	△ 7,000,000
固定資産合計	14,000,000	21,000,000	△ 7,000,000
資産合計	82,693,643	97,739,079	△ 15,045,436
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,191,236	854,383	1,336,853
前受会費	16,811,055	18,916,240	△ 2,105,185
前受金	10,000	440,000	△ 430,000
預り金	750,564	773,503	△ 22,939
仮受金	19,000	54,000	△ 35,000
流動負債合計	19,781,855	21,038,126	△ 1,256,271
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	19,781,855	21,038,126	△ 1,256,271
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	62,911,788	76,700,953	△ 13,789,165
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	0
(うち地域活動推進事業への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち運動推進資金への充当額)	(4,000,000)	(11,000,000)	(7,000,000)
正味財産合計	62,911,788	76,700,953	△ 13,789,165
負債及び正味財産合計	82,693,643	97,739,079	△ 15,045,436

財産目録

平成31年3月31日現在

(単位:円)

科目		場所・物量等		使用目的等	金額
(流動資産)					
現金	普通預金	手元保管		運転資金として	162,565
		みずほ銀行・早稲田支店		"	14,311
		みずほ銀行・大塚支店		"	7,545,250
		三井住友信託銀行・本店営業部		"	255,677
		三菱東京UFJ銀行・高田馬場支店		"	6,677,670
		りそな銀行・早稲田支店		"	17,092,887
		りそな銀行・大塚出張所		"	14,630,733
		巢鴨信用金庫・大塚支店		"	10,000,000
未収金	商品	その他銀行		"	10,000
		振替貯金		"	280,334
	貯蔵品	「波」協賛金、他		"	7,795,299
		書籍		"	4,212,676
		切手		"	16,241
流動資産合計					68,693,643
(固定資産)					
基本財産	定期預金	三井住友信託銀行・本店営業部		公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用	10,000,000
		三菱東京UFJ銀行・高田馬場支店		てんかん運動推進のための公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用	3,000,000
運動推進資産	定期預金	三井住友信託銀行・本店営業部		てんかん運動推進のための公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用	106,208
		振替貯金		てんかん運動推進のための公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用	893,792
固定資産合計					14,000,000
資産合計					82,693,643
(流動負債)					
	未払金	スターティア、他		スターティア、他	2,191,236
		前受金		支部記念行事広告料	10,000
	前受金	前受金		平成31年度会費	16,811,055
		預り金		給与源泉税、住民税、他	750,564
	仮受金	未確定振込金		未確定振込金	19,000
		流動負債合計			
負債合計					19,781,855
正味財産					19,781,855
					62,911,788

注 記 事 項

1. 継続事業の前提に関する注記

…… 該当なし。

2. 重要な会計方針

1). 棚卸資産の評価基準および評価方法 …… 最終仕入原価法を採用している。

2). 消費税の会計処理 …… 税込方式を採用している。

3. 会計方針の変更

…… 該当なし。

4. 公益目的保有財産の増減額および残高、財源等

……基本財産及び特定資産の増減及びその残高、財源等は、次のとおりである。

1). 基本財産

(単位：円)

科 目	前期末残高 (2018. 03. 31)	当期増加額	当期減少額	当期末残高 (2019. 03. 31)	うち一般正味財産 からの充当額(*1)
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000	10,000,000
合 計	10,000,000	0	0	10,000,000	10,000,000

*1 正味財産中、全額が一般正味財産であり、指定正味財産はない。

2). てんかん運動推進資産

(単位：円)

科 目	前期末残高 (2018. 03. 31)	当期増加額	当期減少額	当期末残高 (2019. 03. 31)	うち一般正味財産 からの充当額(*1)
定期預金	11,000,000	3,893,792	10,893,792	4,000,000	4,000,000
合 計	11,000,000	3,893,752	10,893,792	4,000,000	4,000,000

*1 正味財産中、全額が一般正味財産であり、指定正味財産はない。

5. 担保に供している資産

…… 該当なし。

6. 固定資産の取得価格、減価償却累計額および当期末残高

…… 該当なし。

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高および当該債権の当期末残高

…… 該当なし。

8. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

…… 該当なし。

9. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価格、時価および評価損益

…… 該当なし。

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額および残高

……補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減および残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高 (2018. 03. 31)	当期増加額	当期減少額	当期末残高 (2019. 03. 31)	貸借対照表上 の記載区分
補助金						
民間補助金	日本自転車振興会 (福) 全国心身障害児 福祉財団	0	4, 191, 000	4, 191, 000	0	記載なし
		0	412, 744	412, 744	0	記載なし
地方自治体	地方自治体	0	14, 055, 240	14, 055, 240	0	記載なし
助成金						
民間助成金	(一財) 日本宝くじ協会 ソウエルクラブ	0	2, 808, 000	2, 808, 000	0	記載なし
		0	14, 000	14, 000	0	記載なし
合 計		0	21, 480, 984	21, 480, 984	0	

11. 基金および代替基金の増減およびその残高

…… 該当なし。

12. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

…… 該当なし。

13. 関連当事者との取引の内容

…… 該当なし。

14. キャッシュフロー計算書の資金の範囲および重要な非資金取引

…… キャッシュフロー計算書は、作成しておりません。

15. 重要な後発事象

…… 該当なし。

16. その他

…… 該当なし。

監査報告書

私たち監事は、公益社団法人日本てんかん協会の 2018(平成 30)年度 (2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日) の理事の職務執行を監査いたしました。その方法および結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法およびその内容

- (1) 各監事は、理事および使用人(事務局)等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議の議事録を基に、理事および使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務および財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。
- (2) さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表および正味財産増減計算書)およびその付属明細書ならびに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

- (1) 事業報告等の監査結果
 - ①事業報告は、法令および定款にしたがい、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
 - ②理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は、認められません。
- (2) 計算書類およびその付属明細書ならびに財産目録の監査結果
 - ①計算書類およびその付属明細書ならびに財産目録は、法人の財産および損益の状況をすべての重要な点において、適正に示しているものと認めます。
 - ②当該年度の支出が公益目的事業に使用されていることを、確認しました。

2019 年 5 月 9 日

公益社団法人 日本てんかん協会

監 事

鶴 井 啓 司



監 事

山 内 俊 雄

